

鈴木總同盟會長辭任顛末報告

全國大會最終日たる十一月四日の會長選舉に於て鈴木會長再選されるや、會長自ら辭意を大會に聲明せられるに至つた爲めに、大會出席代議員は異常なる衝動を受け、會長の就任快諾を得るにあらざれば席を動かすとの熱烈なる懇請嘆願を繰返へす事、數時間、更に第六回理事會は會長の絶望に達し、萬場惜別の情に堪へざるものがあつたが遂ひに第七回理事會に於て、十一月二十四日の中央委員會の顧問としての推戴決議を、承認するの外なかつた事は返へすも残念である。

鈴木會長辭任に關する中央

委員會報告書

去る十四日附報告書の通り、昨廿四日正午より中央委員會を開催、會長辭任の問題を協議いたしました。出席するもの鈴木會長、松岡主事、西尾、今津、金正、齋藤、原、土井、徳永、仲濱、三木及福岡、重廣、二部長、先づ各方面情勢の報告並に希望の開陳あり、何も依然として就任を熱望し居るも餘儀なき場合はせめて顧問として就任せられ度

しとの點に一致す。仍て中央委員會は鈴木會長の辭任を餘儀なきものと認めて之を承認し、直に萬場一致顧問に推薦し、鈴木氏又快く名實伴ふ顧問として従來と異なる所なく努力せらるゝ事を言明せられ遺憾ながら本問題を打切るの外なきに至る。引續き善後策を協議し、當分の内會長若しくは會長代理を置く事なく、次年度大會までに適當なる方法を講ずる事に滿場一致を以つて決定いたしました。就ては會長の辭任並に會則に規定なき顧問の推薦等に就きましては、中央委員會の眞に餘儀なき窮餘の策である事を承認め下さいます、この事情を諒とせられます様希望いたします。

尙創立者であり廿年に垂んとする鈴木會長の辭任は誠に淋しさを感じ、且つ惜別の情に堪えないものがあるのですが、前記の通り責任ある地位より引退されたに過ぎないのであります、依然として従來通りの努力を傾倒するゝ事は元より名實伴ふ顧問として推戴する次第でありますから（鈴木會長の御挨拶にもあります）徒に悲み憂る事なく寧ろ全國同志諸君の御協力を得まして、更に一人發の勇氣を鼓し飽くまで邁進を誓ふものであります。

昭和五年十一月二十四日於本部

日本勞働總同盟

第二回中央委員會

展と内容の充實強化に努力し、以つて鈴木會長廿年の苦心を完成し、その恩義に酬いる事を心掛く可きであり、之れこそ直ちに我等の責務であると信じます。空前の勞働受難期に直而し、我等は總同盟旗に忠誠を誓ふと共に更に一層

日本勞働會館建設運動

土地及建物の買収

本年度に於ける寄附金募集成績は別表の如くであるが、未曾有の不景氣に當面したる爲め、所期の成績を収める事が不可能であつたけれ共、建設委員會は先づ現在日本勞働總同盟本部の所在せる土地及建物の買収を計畫し、松岡委員長、所有者たる東京土地建物株式會社と交渉數回の結果漸く四萬圓で買収契約の成立を見た。依つて寄附金及相互金庫の借入金（一萬圓）其の他組合基金より借受けた、合計四萬圓は八月六日支拂ひを完了した。登記及財團法人其の他の手續を近く完了する豫定である。

本年度大會が開催される頃は、現本部（唯一館）の大改築が開始されてゐるであらう。さしもの日本勞働會館建設の大事業もその半ばを達し得た事は吾等の衷心より喜びとする處である。各支部諸君の一層の努力を以て、之れが完成

の一日も早からしめんことを熱望する次第である。

日本勞働會館建設寄附金

會計報告

（昭和六年三月二十日現在）

寄附金豫約總額 金參萬七千八百八拾七圓八拾八錢也
寄附金領收總額 金貳萬八千參百六拾六圓六拾五錢也

支部名	豫定額	收納額
司厨支部	二四〇〇〇	一五、一一
小石川帽子工支部	一一二、〇〇	一一、〇〇
小石川製紙工支部	一一二、〇〇	一一、〇〇
大日本製米支部	一一二、〇〇	一一、〇〇
志村セルロイド支部	一一二、〇〇	一一、〇〇
中壘火工支部	一一二、〇〇	一一、〇〇
大塚支部	一一二、〇〇	一一、〇〇
池袋支部	一一二、〇〇	一一、〇〇